

2024年度 (53期) 環境経営レポート

(対象期間：2024年5月21日～ 2025年5月20日)



エコアクション21
認証番号 0013694



2024年10月 SCAJ ニコノス展示ブース
(アジア最大のスペシャルティコーヒーイベント)

目 次

項目	ページ
ごあいさつ 環境経営方針	3
組織の概要 事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表 主な環境負荷の実績	5
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	6 5 9
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟等の有無 緊急事態対応訓練	10 11
代表者による全体の評価と見直し・指示	12

ニコノス株式会社 沿革

- 1972.06 「日本珈包印刷株式会社」設立
 - 1991.05 社名を「ニコノス株式会社」に変更
 - 2005.05 “アロマプレスパック”販売開始
 - 2007.04 ホームページを開設
 - 2010.11 WEB事業部を開設し、通信販売を本格化
 - 2012.12 “アロマキーブパック”販売開始
 - 2013.01 日本スペシャルティコーヒー協会会員となる
 - 2015.09 “ニコプリント”スタート
 - 2022.09 エコアクション21取得
 - 2024.09 出荷センター開設
- 現在に至る

にこエコ プロジェクト
アナウンスポスター



昨今の温暖化の影響で地球規模の災害の多さを痛感します。
「環境にいいことをする」から「絶対に環境を保全しなければ」明るい未来はやってこないと思うようになりました。
このままでは、人をはじめとして、動物、植物など全ての生物が生き辛い世界になってしまいます。

我が社にとって「エコアクション21」は使用エネルギーの削減を考えるよいきっかけになりました。
エネルギーは限りあるもので早急に脱炭素社会を進めなければならない、
そして私たちのちっぽけな活動でもやがて未来に繋がることを信じて行動し、さらに活動を広げて行かなければと思います。
これまで4年間の「エコアクション21」活動のデータを分析すると、我が社の環境経営指針は浸透してきていると思いますが、
これまで以上に環境に対する意識を変えていく必要性を感じます。
今後も全社をあげて積極的に環境活動に取り組んでまいります。

環境経営方針

環境経営理念

「社員一人一人の力（power）を結集し、
安心安全で包む（package）技術を探求し、
求められるカタチを提案（proposal）する」

3つのPの基本理念に基づき、環境保全の継続的改善に取り組むとともに、
環境にやさしい商品の企画・提案を進めて参ります。

環境保全への行動指針

- 1．二酸化炭素排出量・廃棄物排出量・給水量の継続的な削減に努めます。
電気、ガソリン等の使用量削減に努めます
3R活動の展開による廃棄物の削減・再資源化に努めます
節水活動による水使用量の削減に努めます
- 2．環境に配慮した活動・提案を継続的に努めます。
資材や物品のグリーン購入に努めます
環境に配慮した商品の企画・提案に努めます
化学物質の適正管理に努めます
- 3．社内において全従業員に環境経営方針を周知し、全員参加により取り組みを目指します。
- 4．環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

制定日：2021年7月1日

代表取締役 片山 恵子

組 織 の 概 要

更新日： 2025年6月20日

- (1) 名称及び代表者名
ニコス株式会社
代表取締役 片山 恵子
- (2) 所在地
本 社 大阪府大阪市都島区都島本通4丁目7番29号
大阪OFFICE 大阪府大阪市都島区都島中通2丁目22番15号
第2倉庫 大阪府大阪市都島区都島本通4丁目1番15号
出荷センター 大阪府大阪市都島区都島中通1丁目2番14号
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 ゼネラルマネージャー 安藤 めぐみ TEL：06－6924－0348
担当者 特販部 吉川 朋子 TEL：06－6924－0348
- (4) 事業内容
コーヒーに関する包装資材の企画・製造・販売
- (5) 事業の規模
年間販売数量 41,732 千枚
- | | 本 社 | 大阪OFFICE | 第2倉庫 | 出荷センター | 合計 |
|---------|-------|----------|-------|--------|--------|
| 従業員 名 | 6 名 | 10 名 | 0 名 | 9 名 | 25名 |
| 延べ床面積 m | 240 m | 230 m | 282 m | 335 m | 1,087m |
- (6) 事業年度 5 月 21 日 ～ 5 月 20 日

◇ 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： ニコス株式会社
対象事業所： 本 社
大阪OFFICE
出荷センター

活動： コーヒーに関する包装資材の企画・製造・販売

◇ 事業や製品(商品)の紹介

【コーヒー専用袋】



Aroma Keep Pack®

アロマキープパックのしくみ

アロマキープパルプ®は多層構造のフィルム製で、煎りたてのコーヒー豆から出るガスを袋外に放出し、外気(酸素)を遮断して鮮度を保ちます。長期保存対応コーヒー専用袋です。ボタンバルブに比べて、薄いフィルム製なので保管の省スペース化がはかれます。

アロマキープパック、及びアロマキープパルプはニコス株式会社の登録商標です



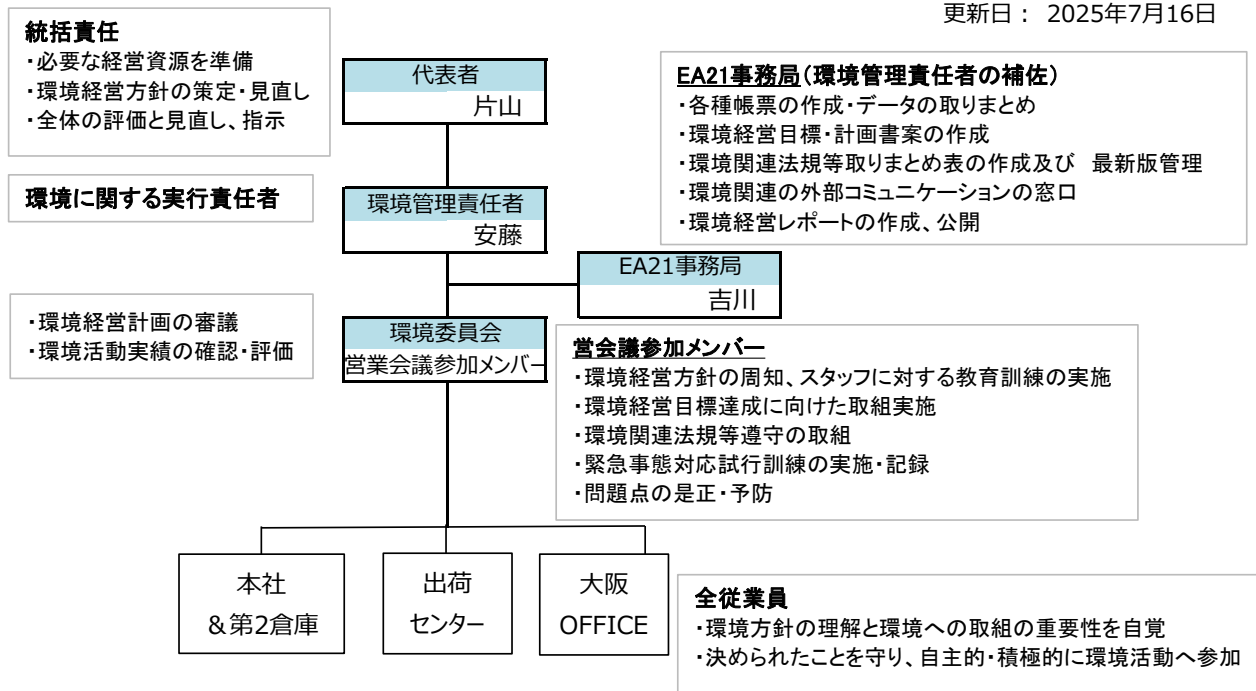
【オリジナル印刷】ニコプリント
対応袋に1色印刷ができるサービス

【手詰用ドリップバッグ】空袋・外袋・ボックス 各種



環境経営組織及び役割・責任・権限

更新日：2025年7月16日

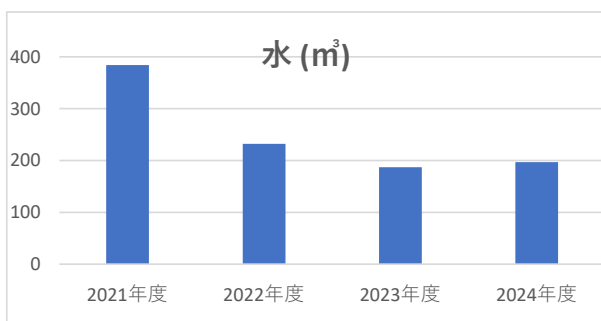
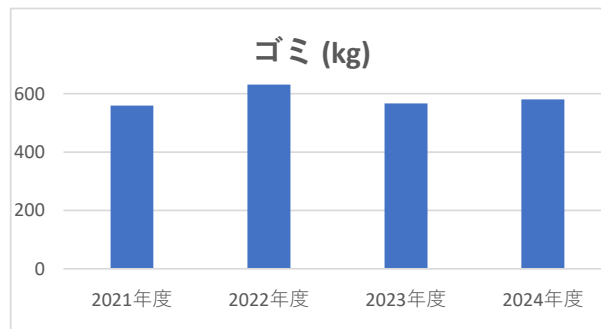
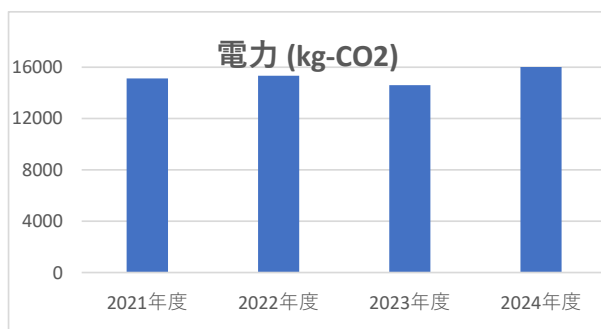


主な環境負荷の実績

項 目	単位	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	24,986	18,255	20,317
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	559	567	580
産業廃棄物排出量	kg	1,225	440	434
水使用量	m ³	384	187	197
※電力の二酸化炭素排出係数(調整後)		0.318	0.318	0.318
※電力会社と採用年度		関西電力 2019年度	関西電力 2019年度	関西電力 2019年度

kg-CO₂/kWh

◇ エコアクション21取得(2021年度)より 4年間の推移



環境経営目標及びその実績

◇ 環境経営目標及びその実績

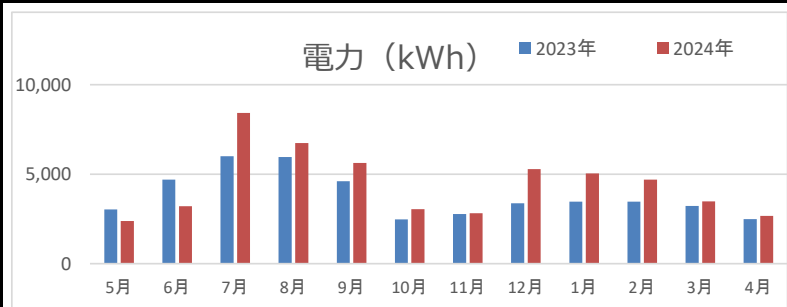
年 度 項 目		基準値	2024年		評 価	2025年	2026年
		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	14,601	14,397	16,986	×	14,251	14,105
	基準年度比	2023年	99%	116%		98%	97%
	原単位 kg-CO2/千円	0.0170	0.0167	0.0182	×	0.0166	0.0164
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	3,654	3,621	3,331	○	3,581	3,544
	基準年度比	2023年	99%	91%		98%	97%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	18,255	18,018	20,317	×	17,831	17,649
	原単位 kg-CO2/千円	0.0212	0.0210	0.0218	×	0.0208	0.0206
一般廃棄物の削減	kg	567	552	580	×	544	538
	基準年度比	2023年	98%	102%		96%	95%
産業廃棄物の削減	kg	440	431	434	×	396	387
	基準年度比	2023年	98%	99%		90%	88%
水道水の削減	m³	187	185	197	×	183	180
	基準年度比	2023年	99%	105%		98%	96%
インクの適正管理	行動目標(次項による)						
環境に配慮した製品・サービスへの取り組み	行動目標(次項による)						
課題を解決しチャンスを活かす取組	行動目標(次項による)						

※今期より新設した出荷センターを追加し、4拠点を対象

環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標: ○達成 ×未達成
活動: ○できた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	前年比116.3%となった。出荷センター以外の3拠点はどこも昨年より下がった。特に出荷センターへ機能が移り、それに伴い働く人も移った大阪オフィスの使用量は大幅に減っている。ただ、今まで1フロアで作業していたのが出荷センターに移り3フロアとなりエアコンの台数が増えたこともありトータルの使用量はプラスとなった。
原単位目標	×	
・空調温度の適正化(冷房26℃ 暖房20℃)	○	
・不要照明の消灯	○	
・業務の効率化による定時退社	○	

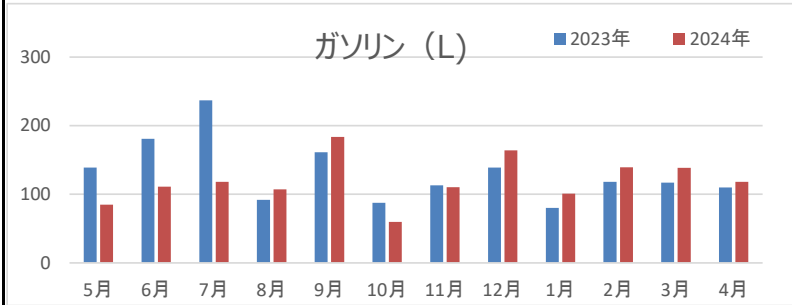


出荷センター 業務用エアコン



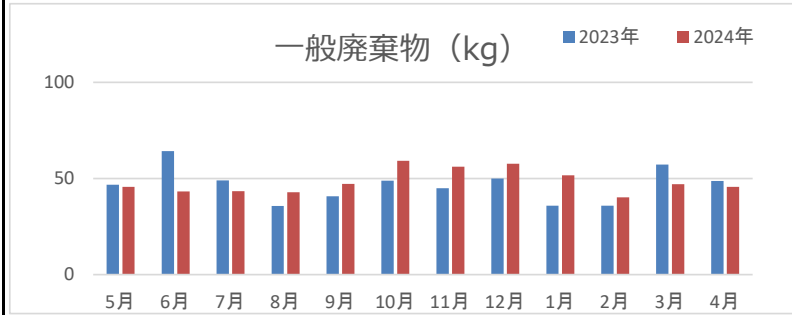
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
2023年	3,031	4,701	5,998	5,961	4,607	2,470	2,769	3,377	3,466	3,466	3,232	2,496
2024年	2,387	3,212	8,427	6,747	5,627	3,042	2,813	5,281	5,044	4,699	3,473	2,662

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	前年比91%となった。7月より出荷センターの商品運搬用として軽自動車を使用し始める。4拠点間での商品移動なので基本的に1km圏内での使用となる。 来期は営業増員に伴い営業車の追加を予定している。導入時にメンバーで「エコドライブ」を共有しておく。
・アイドリングストップ	○	
・効率的なルートで配送	○	
・更新時にエコカーを選択		



	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
2023年	139	181	237	92	161	88	113	139	80	118	117	110
2024年	85	111	118	107	184	60	110	164	101	139	139	118

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	前年比102.3%となった。本社70.9%、オフィス58.5%と既存ベースでは大幅削減になったが機能を集約した出荷センターでの排出量が増え昨年より微増となった。出荷センターの廃棄物は出荷量に直結しており、年間販売枚数が前年比114%であることを考えると健闘していると思われる。
・分別の徹底	○	



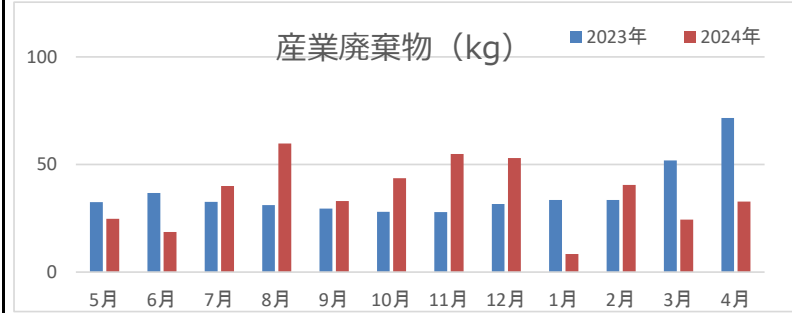
場所別 昨年対比

- ・本社
70.9%
- ・大阪オフィス
58.5%



	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
2023年	47	64	49	36	41	49	45	50	36	36	57	49
2024年	46	43	43	43	47	59	56	58	52	40	47	46

産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	9月に印刷機を1台増設し、3台体制となる。そのスペースの確保のために、保存していた材料類の在庫を見直し、不要なものをまとめて廃棄しがトータルで昨年比98%となった。目標には達しなかったが印刷件数が11%増えている中で、昨年より減らすことができた。
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	
・素材別での計測	○	



1ヶ月分をまとめて社内でも測し、1年に1度処分を委託している。



	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
2023年	33	37	33	31	30	28	28	32	34	34	52	72
2024年	25	19	40	60	33	44	55	53	8	41	24	33

水道水の削減		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標		×	前年比105.3%となった。本社は印刷機が増えた中で100%、大阪オフィスは96.9%となり2拠点では昨年よりも使用量は減っている。 今年は拠点が増えた分がシンプルに増につながった。 3拠点として出揃った今年ベースから削減できるよう取り組んでいく。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示		○	
・漏水点検		○	

水道水 (m³)

月	2023年	2024年
5月	20	20
6月	16	13
7月	13	17
8月	16	19
9月	13	16
10月	16	16
11月	15	19
12月	16	17
1月	17	16
2月	13	14
3月	15	15
4月	17	15

出荷センター:超節水タイプのトイレを採用(2カ所)

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
2023年	20	16	13	16	13	16	15	16	17	13	15	17
2024年	20	13	17	19	16	16	19	17	16	14	15	15

インクの適正管理	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・容器の蓋の徹底	○	メーカーのインクの質が変わりロスが多く出るようになったため、価格が上がるタイミングで一部メーカーの見直しを行う。結果としてコストダウンにつながり、ロスも抑えられている。メーカーを変更したため、PRTR物質を含む色が増えたことをスタッフと共有。
・作業ミスによる使用量増加の抑制	○	
・代替物質の検討	○	

環境に配慮した製品・サービスへの取り組み	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・環境に配慮した商品の販売	○	バイオマスフィルム、アルミレス遮光フィルムを使用した商品を12アイテム発売。 8月WEBページに環境配慮型の商品の特徴ピクトを追加する。 10月のSCAJ2024(アジア最大のスペシャルティコーヒーイベント/東京ビッグサイト)にブース出展し、「にこエコプロジェクト」を来場者に紹介。
・製品・情報の公開	○	

《新商品》 エコスタンドチャック 100g
袋の材質に、アルミ層の代わりに環境配慮型の遮光フィルムとリサイクルPETを採用。



SSZ-100シリーズ

課題を解決しチャンスを活かす取組	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・出荷センター開設	○	・毎日の出荷作業に関して、本社1階と大阪オフィス1階でそれぞれ行っていたのを、2024年8月に出荷センターを開設し作業を一か所に集約した。それに伴い、昨年の審査で危険と指摘のあった本社の中2階を撤去し、その在庫を出荷センターへ移す。 ・9月に本社2階に印刷機を1台増設し3台体制とし、年々増えている印刷注文にスピーディに対応できるよう備える。 ・4月より勤務時間が8:50-17:30(休憩45分)に変更となる。社員の退勤時間が早まるので、今後電気消費量などにも効果が出てくると思われる。
・印刷機増築	○	
・勤務時間の変更	○	

グリーン購入について

OA機器、文具はエコマークの商品を積極購入

新設した出荷センターのプリンター2台



合計4台のレーザープリンタ：
再生トナー・再生ドラムを使用



エプソン



富士通

- ・国際エネルギースタープログラム
- ・グリーン購入法 規格適合

アスクルのインドネシア産コピー用紙(PEFC認証有)を継続使用



インクジェットプリンター用インク
(グリーン購入マーク有)



環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

環境関連法規制等名称	該当する設備・項目
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物(廃プラ)の保管・処理委託
フロン排出抑制法	業務用空調機・冷凍庫・冷蔵庫の修理・廃棄時の適正処理と簡易点検
家電リサイクル法	エアコン、冷蔵庫・冷凍庫の廃棄時のリサイクル
顧客要求事項	環境管理、品質管理

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

※今期より新設した出荷センターを追加し、4拠点を対象

- ◇ 外部からの環境上の苦情・要望等
対象期間については苦情等はありませんでした。

緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 地震の発生	
■実施日： 2025/5/15	■実施場所： 大阪OFFICE 2階
■参加者： 1階（出荷センターに移動になった） 2階 5名	
■実施内容： ☐ 通報訓練 ☐ 消火訓練 ☒ 避難訓練 2階：机の下で身を守り、揺れが落ち着いてから外へ避難する。避難時に電気のブレーカーを切る。	
■評価：	手順書の変更の必要性 ☒ あり ☐ なし
2階は手順に変更はなく、ヘルメットの位置とブレーカーの位置を全員で確認する。 指定集合場所を3拠点の中心の「都島公園」へ変更。	
■実施状況の様子	
	

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2025/5/15	■実施場所： 本社 2階
■参加者： 6名	
■実施内容： ☒ 通報訓練 ☒ 消火訓練 ☒ 避難訓練 全員で消火器の使い方の動画を見る。印刷機から火が出たことを想定して消火・避難を行う。	
■評価：	手順書の変更の必要性 ☒ あり ☐ なし
消火器の使い方の動画を見て使用時間と距離を確認。 指定集合場所が3拠点の中心の「都島公園」へ変更になったことを共有。	
■実施状況の様子	
	

緊急事態の想定： 地震の発生	
■実施日： 2025/5/15	■実施場所： 出荷センター 2階
■参加者： 2階 6名(全員集まって)	
■実施内容： ☐ 通報訓練 ☐ 消火訓練 ☒ 避難訓練 揺れを感じたらヘルメットか手近にある段ボールなどで頭を守り、棚の下に入る。(机の下では身を隠せない)	
■評価：	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
作業台下は身を隠せる場所がないため、ヘルメットや段ボールで頭を守り、商品棚下で身を守る。 ヘルメットの設置位置の確認、全員で消火器の位置を確認した。	
■実施状況の様子  	

代表者による全体の評価と見直し・指示

【当該年度の総括】

実施日：2025年7月2日

当該期の第一の変化は、今まで本社1階と大阪オフィス1階でそれぞれ行っていた入荷・出荷業務に関して新たに「出荷センター」を開設し、煩雑だった商品の移動と拠点間の人の行き来を減らすことで業務改善に取り組みました。そのために、商品移動用として車を増やし、センター内各階に空調を設置しました。また、本社2階についても、安全面で不安視されていた倉庫部分の吊り棚を撤去した上で、印刷部門の作業場を効率的に活用出来るよう、壁を取り払って空調を完備し印刷機を増設しました。

◇電力による二酸化炭素削減

昨年比で販売数や売上高は僅かに増加しましたが、出荷センターの空調設置や本社2階の改築、印刷機を増設により、売上ベース以上に電気使用量が増えたことは否めません。(16%増)

◇自動車燃料による二酸化炭素削減

荷物運搬用として軽自動車を1台購入しましたが、ガソリン使用量は減りました。(9%減)
来期は営業用に1台自動車を追加しますが、ハイブリット車を予定しています。今後とも各車でガソリン使用量を抑えるよう努力をしていきます。

◇一般廃棄物の削減

商品の流通量が増えているにも関わらず、各部署内で紙の排出ゴミを資源に振り分けるなどの対策の効果があり、一般ゴミの排出量は微増でした。(2%増)

◇産業廃棄物の削減

印刷部門における産業廃棄物の排出量は、印刷機を増設、それに伴い保存していたインキなどを廃棄したにも拘らず、昨年と変わらず横ばいでした。今後も廃棄物処理法に則り、適切に処分を行います。

◇水道水の削減

水道水使用量は、出荷センターの開設にも拘らず、微増に抑えられています。(5%増)これからもさらに節水を心がけるよう努めていきます。

◇環境に配慮した製品・サービスへの取り組み

今期はバイオマス原料を採用した商品1アイテム追加、紙と遮光フィルムが原料の紙マークの商品のカラーバリエーション追加、遮光フィルムを使用した商品の新サイズ展開と13アイテムを「にこエコ商品」として発売いたしました。全体としても環境対応商品の売上数量は上昇の傾向にあります。今後も社会や業界が求めるリサイクル素材、バイオマス素材の採用を心がけるよう努めていきます。

【今後の課題】

当該期は商品の在庫スペースの確保と作業の効率化を計り「出荷センター」を新規開設しました。拠点が増えることでエネルギーの消費量が増えましたが、その環境変化に流されることなく全体の消費エネルギーが大幅に増加しないようスタッフ一同心掛けていきたいと思っております。

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり	(2024年度の実績を基準値とし、4拠点を考慮した目標)
環境経営目標・計画	☐ 変更なし	☒ 変更あり	
実施体制他	☒ 変更なし	☐ 変更あり	

◇ 編集後記

今期は出荷センターが開設され、建物が増え人の移動もある中での活動となりました。レポートをまとめていると働く拠点が変わってもそれぞれの中に今まで積み上げてきたエコアクション21の活動は継続されているのだと思いました。

この活動は毎日の仕事の中のちょっとした意識や行動ですが、それを継続していくことの大切さと強さを感じます。

来期には新しいスタッフも加わっていくので、その輪を広げてよりよい活動に発展していければと思います。

吉川 朋子